

ウイグル強制収容所から

AMNESTY
INTERNATIONAL



奇跡の生還

東京講演

11/23

(金) 勤労感謝の日
明治大学
駿河台キャンパス



大阪講演

11/26

(月)

大阪市立
総合生涯学習センター



～ オムルベク・アリさんが語る ～

《講演会》ウイグル強制収容所から奇跡の生還 ～オムルベク・アリさんが語る～

今、中国では少数民族、特にウイグル人が、突然、強制収容所に収監されるという事件が相次いでいます。特に中国北西部の新疆ウイグル自治区では、100万人に及ぶウイグル人やカザフ人が強制収容所に入れられ、そこでは強制的な「教育」や拷問が行われていると報告されています。

同自治区で弾圧が強化されたのは、昨年3月、「脱過激化条例」なるものが制定されたことが契機でした。宗教的あるいは文化的な表現が公私の場を問わずに「過激主義」と見なされ、「普通でない」あごひげを生やす、ベールやヘッドスカーフを着用する、イスラム教やウイグルに関する本や記事を所持する、定期的な祈り、断食、禁酒などが、摘発の対象となっています。

今年の10月16日、同自治区の人民政府主席は、この収容所について「無料の職業訓練所だ」とコメント。しかし数多の証拠は、これが強制収容所であることを示しています。

今回、収容所から奇跡の生還を果たした、オムルベク・アリさんを迎え、経験談をお伺いします。オムルベクさんは、新疆ウイグル自治区にある両親宅に滞在中、突然現れた警察官に連行されました。

カザフスタン国籍を持つオムルベクさんは、カザフスタンの外交官たちの働きかけにより8カ月後に出所しましたが、その時には体重が40kgも減っていたと言います。

今、中国で何が起きているのか？ 生の声をお伝えします。

【スピーカー：オムルベク・アリさん】

1976年、新疆ウイグル自治区生まれ。現段階でウイグルの収容所を体験した、数少ない生還者の一人。カザフ人とウイグル人の両親の間に生まれ、カザフ国籍を持つ。多言語に通じることから、カザフスタンの旅行会社に勤務していた。新疆東部にある両親宅に突然現れた警察官に身柄を拘束され、「カラマイ市技術研修センター」の名の看板が掛かる収容所に送られた。カザフスタン外交官たちの働きかけで、8カ月後に釈放されたが、収容所内の環境は劣悪で出所したときには体重が40キロも減少。帰国と同時に入院した。



オムルベク・アリさん(左:強制収容所入所前、右:強制収容所出所直後)

【スピーカー：水谷尚子さん】

明治大学兼任講師。専門は現代中国史。著作に『中国を追われたウイグル人 亡命者が語る政治弾圧』(文春新書)などがある。



水谷尚子さん

東京講演

日時：2018年11月23日(金・祝) 18:00-21:00

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1093教室
東京都千代田区神田駿河台1-1

https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

主催：明治大学現代中国研究所、アムネスティ・インターナショナル日本

参加費：無料

東京会場



アクセスマップ

大阪講演

日時：2018年11月26日(月) 19:00-21:00

場所：大阪市立総合生涯学習センター 第二研修室
大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル6階

<https://osakademanabu.com/umeda/access>

主催：アムネスティ・インターナショナル日本 共催：神戸大学経済学部梶谷懐研究室 協力：ヒューマンライツ・ナウ

参加費：無料

大阪会場



アクセスマップ

【お問い合わせ・お申し込み】 東京講演、大阪講演、いずれも

アムネスティ・インターナショナル日本 東京事務所(電話:03-3518-6777 E-mail:camp@amnesty.or.jp)

東京講演情報 https://www.amnesty.or.jp/get-involved/event/2018/1123_7695.html

大阪講演情報 https://www.amnesty.or.jp/get-involved/event/2018/1126_7696.html